



十月十日(火)の午後七時から、こうざき校区公民館集会室において、第五回統合校運営委員会を開催しました。

会議では前回の統合校運営委員会から今回までの経過について事務局から報告があった後、協議・報告事項について検討を進めました。

小中一貫教育の運営については、平成三十年四月から5、6年生が中学校校舎で生活するようになるため、今年度3学期より中学校校舎での生活に慣れるための予行演習を段階的に行っていく旨の報告がありました。

また、小中一貫校としての校章について、神崎中学校及びこうざき小学校の

生徒・児童から募集した校章案をデザインナーによりデザイン化していただいたものをプロジェクターにて3案提示し、各委員より意見をいただくなかで、1案を校章として決定いたしました。

その他にも、平成三十九年度以降のPTA組織の方向性等についての報告や通学環境の整備における協議が行われました。

次回、第六回統合校運営委員会は、平成三十年二月六日に行われる予定です。

## 第6回神崎中学校区 統合校運営委員会は

平成30年2月6日(火)  
に開催します。

時間：19:00～

場所：こうざき校区公民館

会議は傍聴できます。

# 校章決定!!



第5回神崎中学校統合校運営委員会において、平成30年4月からの神崎小中一貫校の校章が決定しました。

校章の作成にあたっては、6月に児童・生徒から募集した校章案を、専門家に以下のABCの3案デザイン化していただきました。

	校章案	校章に込められた思い	色に込められた思い
A案		海とウミガメを象徴する組み合わせ。 亀の甲羅は、砂浜をイメージした色を使用し、神崎（こうざき）らしさを表現。	<p><b>■ 黄檗色（きはだいろ）</b> 知性を刺激し、前向きで明るさをイメージした色。砂浜の色のイメージでもある。</p> <p><b>■ 紺碧（こんぺき）</b> 濃い青色の『紺色（こんいろ）』と強い青緑色の『碧色（へきしょく）』と青を表す文字が繰り返されていることから、「紺碧の空」「紺碧の海」のように濃く美しい青の表現によく使われます。</p>
B案		神崎のシンボルとしてウミガメをイメージ。文字には神崎の「神」の字をとり、神から連想される神様をイメージして羽をつけました。	<p><b>■ 濃藍（こいあい）</b> 手軽に広く用いられながら、自然を映す深遠な色。日本人にとって、一番なじみやすい色。</p> <p><b>■ 紺碧（こんぺき）</b> 濃い青色の『紺色（こんいろ）』と強い青緑色の『碧色（へきしょく）』と青を表す文字が繰り返されていることから、「紺碧の空」「紺碧の海」のように濃く美しい青の表現によく使われます。</p>
C案		若い息吹が芽を出すように、新旧の学校で育った児童・生徒が明るくすこやかに成長するように。	<p><b>■ 若草色（わかくさいろ）</b> 早春に芽吹いた若草のような鮮やかな黄緑。色名の『若』には「新鮮な」、「新しい」などの意味があり、春の訪れを感じさせる明るく鮮やかな緑色を形容しています。</p> <p><b>■ 鬱金色（うこんいろ）</b> 鬱金という字は「金が盛んに増える」という意味に通じ、とても縁起が良い。また、色自体が太陽・光のシンボルであり、「明るい、好奇心旺盛」などイメージがポジティブで子供の成長にプラスになる色です。</p>

第5回運営委員会では、デザイン化された校章案について協議を行い、C案を神崎小中学校の校章として決定しました。

また、今回校章とならなかったA案、B案についても好評であったため、今後いろいろな使い道を考えていくこととなりました。

なお、現在のこうざき小学校、神崎中学校の校章については、既存のまま引き続き各校の校章として使用されることとなります。

## 神崎小中一貫校 校章の検討における主な意見・質問 (発言内容は、紙面の都合で要旨のみとしています。ご了承ください。)

○は意見・質問  
●は質問への回答

### < 通称、校歌、校章の改正に係る検討について >

(委員意見)

- それぞれ思いがあると思うが、パッと見た感じはC案が校章らしい。
- A・B案だとウミガメでこれから先もずっとやって良いのかという不安がある。
- いずれの案も洗練されている。新しいものを目指すという意味では、AとかBが良いと思う。
- A案は神崎の誇れるウミガメをモチーフにしたデザインで、西大分の神崎（かんざき）との差別化を図る意味でもA案が良いと思う。
- C案だと3校が一緒になったコンセプトがとてもよくわかる。
- 校章として1案が決まったとして、その他の2案についても他に使う手段があれば良い。

(その他校章についての質疑)

- イメージ的にはいつも白黒のように思うが、校章がカラーで出るのはいつか。
- 小中一貫の横断幕にした場合などはカラー印刷するケースはあるかと思う。
- 名札は小中一貫校の校章が付くようになるのか。
- 実際何に使うかというのは学校と協議をして行きたい。



こうざき小学校 校章



神崎中学校 校章



## 第5回統合校運営委員会におけるその他主な意見・質問 (発言内容は、紙面の都合で要旨のみとしています。ご了承ください。)

○は意見・質問  
●は質問への回答

### < 統合に伴う環境整備について >

- 教室の冷暖房化の話聞いたがどうなるのか。
- 来年の夏休みに、市内全中学校及び普通教室に設置予定。その翌年から小学校の設置となるが、市内全小学校設置完了に1年かかるか2年かかるかは現状は未定。
- 中学校校舎に5,6年生が移ることで、小学校校舎の職員の数が減ると思うが、不審者対応や防犯カメラを出入口や門に設置することはできるか。特に小学校は校舎と運動場、体育館の間に道路があり離れているので。
- 現在、学校には緊急警報システムが入っている。設置から10年経っているもので、現在色々な手法を検討し、子供の安心安全のために何らかの対策を取りたいと考えている。  
先生方の連絡体制についても、校内もしくは校外でもスムーズに行えるよう考えていく。  
また、防犯カメラについては顔が写るので、保護者や地域の方々の同意をいただいた上での設置となる。こういった設置が必要になるかも検討する必要がある。

### < 通学環境の整備について >

- バス停留所の設置については、学校外部から見た意見ではあるが、雨天時にバスの待合所として屋根があった方が良いのではと考えたが、学校や保護者から特にそういった意見はないか。
- これまで特にそういった意見は上がっていない。
- 軽便道路の防犯灯も、特に冬の夜間は暗くて危険を感じる場所があるように思うが、バスの停留所同様、学校や保護者から意見等無ければ、これ以上結論は出ないので、運営委員会での協議は終了ということになると思う。

### 第5回統合校運営委員会における確認事項

- ★ 平成30年4月からの小中一貫校では、5,6年生が中学校校舎で生活するようになる。
- ★ 小中一貫校に向けて、3学期の数日間だけ中学校校舎での生活の予行演習を行う。
- ★ 小中一貫校の校章が決定。具体的な使用場面については今後学校で検討。
- ★ 既存の小学校、中学校の校章は引き続き各校の校章として使用。
- ★ PTAの組織について、30年度は小中役員を統合し、会長1名、副会長8名とする。また、31年度以降は会長1名、副会長4名、事務局2名、会計2名、専門部長4名とする。
- ★ 専門部は30年度は小中別に組織し、31年度から統一する。また、31年度以降も内容によっては小中別に専門部活動をする。
- ★ 神崎中学校前バス停の停留所（待合所）の設置、及び軽便道路の防犯灯の設置については、学校及び保護者からの要望等も無いことから、第5回統合校運営委員会を以て議論を終了とする。

#### 《事務局から》

次回、第6回神崎中学校区統合校運営委員会で、本委員会は最後となります。最後まで皆様のご協力の程よろしくお願いいたします。

#### 神崎中学校区統合校運営委員会NEWS「第5号」

発行：平成29年12月

発行者：神崎中学校区統合校運営委員会

事務局：大分市教育委員会学校施設課

連絡先：住所 大分市荷揚町2番31号

電話 097-537-5647 (直通)

E-mail gakkosisetu@city.oita.oita.jp